

会社概要

社名

株式会社バイウィル

本社

〒103-0027
東京都中央区日本橋2-3-21 群馬ビル6階

設立

2013年11月11日

従業員数

56名（業務委託・アルバイト含む）（2024年10月現在）

資本金

5億8,195万円（資本準備金含む）

役員

代表取締役社長 CEO	下村 雄一郎
代表取締役 CSO	伊佐 陽介
取締役	中村 誠司
取締役	有賀 貞一
監査役	山口 克隆

顧問

井熊 均	（元 株式会社日本総合研究所 常務執行役員）
大谷 文夫	（元 株式会社東芝 執行役上席常務）
杉浦 佳浩	（代表世話人株式会社 代表取締役）
中井 徳太郎	（元 環境事務次官）
中塚 一宏	（元 内閣府副大臣）
速水 亨	（速水林業 代表、FSCジャパン副代表）

株主

経営陣、株式会社Team Energyグループ、みずほイノベーション・フロンティア株式会社、株式会社山陰合同銀行、株式会社ちゅうぎんキャピタルパートナーズ、愛知キャピタル株式会社、SMBCベンチャーキャピタル株式会社、株式会社紀陽銀行、とっとりキャピタル株式会社、ひろぎんキャピタルパートナーズ株式会社、三菱UFJキャピタル株式会社、いよぎんキャピタル株式会社、株式会社佐銀キャピタル&コンサルティング、肥銀キャピタル株式会社、株式会社QRインベストメント、岐阜信用金庫株式会社TBM、福井テレビジョン放送株式会社

事業内容

カーボנקレジットを軸にした下記4つの事業で
「環境価値」と「経済価値」の循環を創り出し
日本のカーボンニュートラル達成に貢献する

- 環境価値創出支援事業（クレジット創出）
- 環境価値売買事業（クレジット調達・仲介）
- 脱炭素コンサルティング事業
- ブランドコンサルティング事業

認定 メンバー



J-クレジット制度

GX League

J-クレジットプロバイダー
8社のうちの1社

（一部抜粋）

パートナー 連携

金融機関・地方自治体等との連携により
全国で脱炭素の取り組みを推進

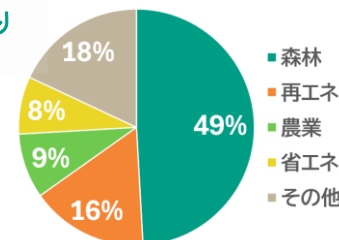
パートナー数

66

パートナーによる
顧客紹介件数

1300

（2024年10月28日現在）



顧客紹介件数の方法論別内訳

3.バイウィルの強み②: 拡大する自治体との連携

自治体との連携を進めることで、ゼロカーボンシティ実現や地域脱炭素への貢献を加速。

東京都江戸川区と連携協定を締結

Press Release

報道関係者各位

BYWILL

2023年12月11日
株式会社バイウィル

江戸川区、三井住友海上と、 カーボン・マイナス都市実現に向けた 3者連携協定を締結

【東京都初】中小企業による温室効果ガス排出量削減活動による
「J-クレジット創出」を視野にいたれた自治体との連携

日本全国47都道府県のカーボンニュートラル実現を目指す株式会社バイウィル(本社:東京都中央区、代表取締役 CEO:下村 雄一郎、以下「バイウィル」)は、江戸川区(区長:斉藤 猛)、三井住友海上火災保険株式会社(本店:東京都千代田区、取締役社長:船曳 真一郎、以下「三井住友海上」)と3者連携協定を締結したことをお知らせします。

2023年12月6日(水)には、江戸川区役所にて締結式を執り行いました。

本締結によって、三井住友海上が中心となることで国内大手メーカーなどのアライアンス事業者も参画し、江戸川区内の中小企業の脱炭素化を推進してまいります。

その中でバイウィルは、区内のさまざまな脱炭素の取り組みをもとに「J-クレジット(*1)」に代表される環境価値の創出を支援し、その販売や情報発信においても貢献いたします。



(写真左:三井住友海上火災保険株式会社 東京東支店 理事 高野 敬太郎氏、写真中央:江戸川区 斉藤 区長、写真右:株式会社バイウィル 代表取締役 CEO 下村 雄一郎)



カーボンマイナスを目指す東京都江戸川区。脱炭素化の鍵を握る中小企業に対し、具体的な脱炭素支援を促進するべく、バイウィル・三井住友海上との連携協定を締結。

本連携において当社は、J-クレジット創出～販売支援だけでなく、**中小企業に対して本活動を啓蒙・情報共有するための情報発信支援**も担う。脱炭素ポータルサイト(Webサイト)の制作も支援。

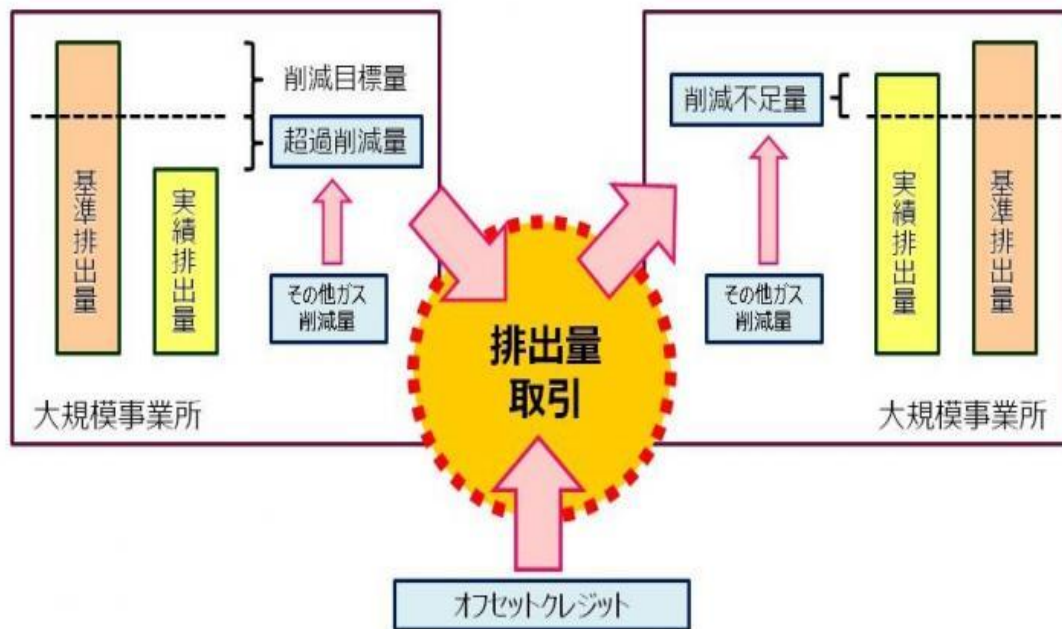
4.排出量取引市場の調達支援(Compliance Carbon Credit)

国内排出量取引制度(東京都及び埼玉県のカップ・アンド・トレード)に参加。(2023年GXリーグにも参加)

温室効果ガス排出量のクレジット等を仲介、企業間での排出量の取引をご支援致します。

東京都・埼玉県排出量調達支援

排出量取引のイメージ



東京都削減目標

区分		第1計画期間	第2計画期間	第3計画期間
		2010～2014	2015～2019	2020～2024
1-1	オフィスビル等※1	8%	17%	27%
1-2	オフィスビル等のうち他人から供給された 熱に係るエネルギーを多く利用している事業所※2	6%	15%	25%
2	工場等※3	6%	15%	25%

バイウィルの2023年度の取り扱い実績

・売買実績 10,700t-CO₂
(東京都)

5. トラッキング付FIT非化石証書の取り扱いについて

東京都排出量取引、第4計画期間で活用可能な**非化石証書**の取り扱いもございます

JEPX
Japan Electric Power eXchange

発行日 : 2024年9月5日
発行者 : 一般社団法人日本卸電力取引所
証書番号 :

殿

非化石証書

当非化石価値は**2024**年4月から2025年3月までに使用した電力に対して活用が可能です。

証書種別	FIT
非化石価値	kWh

事業所情報

法人番号	
事業所名	
需要場所	
備考	

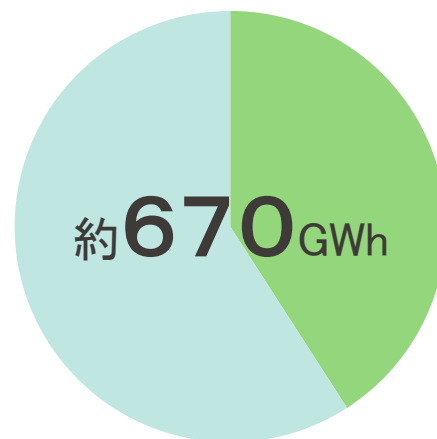
内訳

発電設備区分	非化石価値	(内、RE100基準(*1))
太陽光	kWh	kWh

(*1) : 15年以内に運転開始した設備、かつ再生可能エネルギー由来の非化石価値を合計しています。


二次元コードを読み取ることで、保有している非化石価値の設備に関する詳細をご確認いただけます。

FIT非化石証書 取扱量



*2022年～2023年 約定量 : 約500,000GWh



プロバイダーの中では
トップクラス！！

※電力会社様購入分を除く

6. お問い合わせについて

TEL:03-6262-3584

Mail:gx@bywill.co.jp

担当窓口:カーボンニュートラル促進部 岩佐、須本

- 当社は、東京都の第三計画期間で超過削減量の仲介実績が既に110,000tを超えるご支援をしている事業者です。
- 排出量取引に留まらず、Jクレジットの創出/調達支援や、国内外の再エネ電力証書の取り扱いを網羅的にご提供致しております。
- 本日の投影資料や会社案内の送付、各種ご相談等ございましたら、お気軽にお声かけ下さい。

